

**三重県保育士・保育の魅力発信事業  
学生向けアンケート  
調査報告書**

**概要版**

令和5年3月

一般財団法人 保健福祉振興財団

(三重県委託事業)

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

保育士や保育の現場の魅力を発信し、保育士確保や就業継続を図るため、指定保育士養成施設の学生及び保育士を対象に行った調査をもとに、課題を整理し、保育の職場環境のための研修や魅力を伝える情報発信を行うことを目的とする。

※なお、保育士を対象としたアンケートは別途報告書にまとめる。

### (2) 実施主体

三重県

### (3) 調査実施機関

一般財団法人 保健福祉振興財団（以下「本財団」とする。）

### (4) 調査対象

三重県内すべての指定保育士養成施設の学生

### (5) 調査期間

令和4年12月19日から令和5年2月28日まで

### (6) 調査基準日

令和4年12月1日

### (7) 調査方法

三重県・本財団が作成した調査票及び回答入力フォームを、三重県より県内の指定保育士養成施設へ送付し、対象者へ周知を依頼。調査対象者は、調査票を本財団にFAXするか回答入力フォームに直接入力を行う。

### (8) 回答状況

調査対象者数： 1,007 件

回答数： 383 件

回答率： 38.0%

有効回答数： 383 件

有効回答率： 38.0%

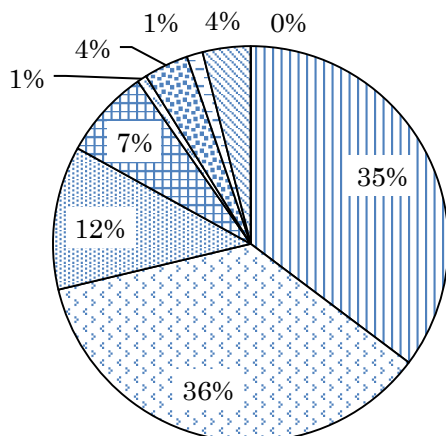
## 2. 結果から見えてきた課題等 その1

### 保育士になりたいと思った時期

保育士になりたいと思った時期については、36.0%が「中学校在学中」、35.2%が「小学校卒業まで」と回答している。小・中学生に対して、保育体験などの取組を行っていくことが将来を担う保育士の確保に有効と考えられる。

保育士になりたいと思った時期はいつですか。

回答	人数	割合(%)
1. 小学校卒業まで	135	35.2
2. 中学校在学中	138	36.0
3. 高校在学中（1～2年生）	45	11.7
4. 高校在学中（3年生）	28	7.3
5. 養成学校入学後から現在までの間	3	0.8
6. わからない・覚えていない	14	3.7
7. なりたいと思っていない	5	1.3
8. その他	15	3.9
合計	383	100.0



- 1. 小学校卒業まで
- 2. 中学校在学中
- 3. 高校在学中（1～2年生）
- 4. 高校在学中（3年生）
- 5. 養成学校入学後から現在までの間
- 6. わからない・覚えていない
- 7. なりたいと思っていない
- 8. その他
- 無回答

## 2. 結果から見えてきた課題等 その2

### 保育士を目指す学生の増加につながる支援や制度

「どのような支援や制度があれば、保育士等を目指す学生が増えるか」との問いに対し、77.5%が「保育士等の処遇改善（給与・職場環境等）」、45.2%が「補助金による修学支援」と回答している。指定保育士養成施設の学生の確保のためには、保育士等の処遇改善により、学生にとって魅力ある労働条件を整備すること、補助金による支援により安心して学べる環境づくりが必要である。

どのような支援や制度があれば、保育士等を目指す学生が増えると思いますか。

（複数回答可）

※「割合」は有効回答数（383件）に対する割合

回答	人数	割合(%)
1. 補助金による修学支援	173	45.2
2. 保育士等の処遇改善（給与・職場環境等）	297	77.5
3. 保育士等を目指す学生向けの相談窓口	70	18.3
4. 保育士等の魅力を広めるイベントの開催	86	22.5
5. 就職・復職に係る相談窓口の設置	62	16.2
6. 最新の保育知識・技術等を学ぶ研修の開催	62	16.2
7. 就業中の者が受けられる相談窓口の設置	55	14.4
8. 地域の保育所等の情報を集約・発信する窓口の設置	39	10.2
9. 保育士等に関する法令等の最新情報を発信する窓口の設置	34	8.9
10. 就職・復職前研修の実施	46	12.0
11. 就業継続支援研修の開催	27	7.0
12. 入学準備金等金銭面での修学支援	86	22.5
13. 特にない	10	2.6
14. その他	9	2.3

## 2. 結果から見えてきた課題等 その3

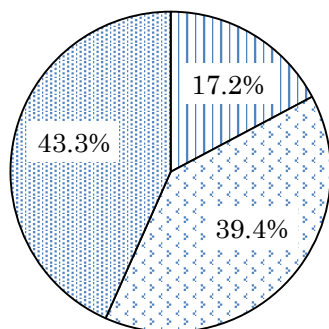
### 「保育士修学資金貸付制度」の利用状況

「保育士修学資金貸付制度」の利用状況については、43.3%が「制度について知らない」と回答している。指定保育士養成施設の学生を増やし、保育士の成り手を確保するために、高校生や指定保育士養成施設の学生に対し「保育士修学資金貸付制度」の周知を強化し、認知度を高める必要がある。

保育士修学資金貸付制度について、あなたの状況を教えてください。

※保育士修学資金貸付制度とは、指定保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指し、将来、三重県内の保育所等において、保育士として働こうとしている者で、経済的理由により修学が困難な者に対して必要な資金を貸し付け、修学を支援する三重県社会福祉協議会が実施主体の制度です。

回答	人数	割合(%)
1. 利用している	66	17.2
2. 制度について知っているが、利用していない	151	39.4
3. 制度について知らない	166	43.3
合計	383	100.0



- 1. 利用している
- 2. 制度について知っているが、利用していない
- 3. 制度について知らない

### 3. まとめ

今回のアンケート結果から、指定保育士養成施設に在籍する多くの学生が、保育士になりたいと思った時期については、小・中学生などの早い時期と回答している。このことから、小・中学校でキャリア教育の一環として行われている職場体験活動等において、保育所等で幼児や保育士等と交流するという経験が保育現場の魅力発信に有効であると考えられる。この結果は、同時に行っている現役保育士に対するアンケートでの同様の質問への回答（小学生の時：18.2%、中学生の時：16.4%、高校生の時：28.0%）とは大きく異なる結果となっている。

一方で、保育士を目指す学生を確保するためには、「保育士等の処遇改善（給与・職場環境等）」、「補助金による修学支援」が必要であることも明らかになった。「保育士等の処遇改善（給与・職場環境等）」を求める結果は、現役保育士等へのアンケート結果ともほぼ同様であり、県としても引き続き、改善に向けて国や市町とともに対策を検討していくことに加え、処遇改善の一環として、保育の現場で取組を進めている ICT 化による業務軽減等の取組等についての情報発信も検討していく必要がある。

また、県は一定の条件を満たせば返還が免除される「保育士修学資金貸付制度」を補助しているが、43.3%の学生が「制度を知らない」と回答しており、この制度の周知を強化して保育士を目指す学生を確保し、保育士確保につなげていく必要がある。

#### 三重県保育士・保育の魅力発信事業

発行日 令和5年3月

発行 一般財団法人保健福祉振興財団（三重県委託事業）

〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-6-2 肥後橋ルーセントビル 5階

TEL : 06-6940-6117 FAX : 06-6940-6119